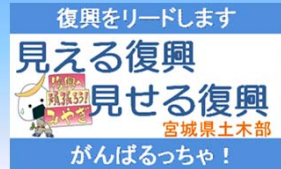


東部土木復旧・復興だより

第6号

平成25年3月27日発行
宮城県東部土木事務所



1. 災害復旧事業の進捗状況(平成25年3月末予定)

当事務所管内の災害復旧事業の着手率は、道路及び河川関係を合わせて箇所ベースで約83%、金額ベースで約20%となっています。

工種	事業箇所数			着手率	工種	事業費(億円)			着手率
	全体	事業中	うち完了			全体	事業中	うち完了	
道路関係	591	490	112	82.9%	道路関係	481	176	45	36.6%
河川関係	63	55	7	87.3%	河川関係	1279	183	11.1	14.3%
合計	654	545	119	83.3%	合計	1760	359	56.1	20.4%

2. 復興事業関係

「3. 11伝承・減災プロジェクト」の一環として、福井県を訪問し宮城県の取り組み等を紹介しました。

本県では、東日本大震災の教訓を踏まえ、高台移転、職住分離、多重防御による大津波対策など沿岸防災の観点から震災教訓を活かした災害に強いまちづくりを進め、更に、震災後からの取組やプロセスを伝承していくことが重要となります。

また、この取組やプロセスについて、巨大地震発生が懸念される地域等、日本全国の防災・減災に役立てて貰えるよう伝えていくことが責務となっています。

今回、「3. 11伝承・減災プロジェクト」として門傳所長、藤澤技術主幹が、昨年10月から新たに本県へ職員派遣を頂いた福井県を訪問し、本県の復旧・復興の考え方、現在の取組状況や課題等について説明を行ってきました。



■説明の状況

日時:平成25年2月20日(水)
会場:福井県精神保健福祉センター
参加者:約60名



3. 管内の復旧・復興情報

管内では復旧・復興に向けた様々な事業が進んでいます。

○女川町出島で防災集団移転促進事業の安全祈願祭が開催されました。

2月23日(土)に女川町出島で防災集団移転促進事業の安全祈願祭が開催されました。

女川町は東北地方太平洋沖地震により最大津波高さ18m以上の津波に襲われ、低地部の大半が浸水し、建物のほとんどが全半壊の被害を受けました。津波に強い安心・安全な集落の形成をめざし、居住地を高台に移転することにしました。

女川町の離半島部では、13箇所の防災集団移転促進事業が計画されています。



■安全祈願祭の状況

○都市計画道路石巻工業港曾波神線の開通式が開催されました。

3月10日(日)に石巻市が整備した都市計画道路石巻工業港曾波神線の開通式が開催されました。

当路線は、石巻市街地における国道45号の機能を補完する路線であり、石巻工業港から三陸縦貫自動車道へのアクセス道として、地域の発展を担う道路であると同時に、津波襲来時には避難路ともなる大変重要な道路であります。

今回開通したのは暫定の2車線で、平成26年度には4車線の全線開通をする予定となっています。



■亀山石巻市長の挨拶



■完成の状況



■テープカットの状況

○石巻市防災集団移転促進事業の安全祈願祭と起工式が開催されました。

3月10日(日)に石巻市鹿立浜で石巻市防災集団移転促進事業の安全祈願祭と起工式が開催されました。

石巻市では、離半島部で46地区の防災集団移転促進事業を計画しており、今回の起工式ではその内9地区で着手することとなりました。

○石巻地域：鹿立浜地区、竹浜地区

○牡鹿地区：鮫浦地区、前網浜地区

○雄勝地区：名振地区、大須地区

○北上地区：小室地区、小指地区、釜谷崎地区



■鍬入れ式の状況

4. 道路災害復旧事業関係

当事務所管内の県管理道路の災害箇所は591箇所、これまでに490箇所に着手し、123箇所が完了しました。

○石ノ森萬画館のリニューアルオープンに併せて東内海橋の歩道を復旧しました。

東日本大震災で被災した石巻市の「石ノ森萬画館」が、3月23日(土)にリニューアルオープンしました。そのオープンに併せて、同じく被災した東内海橋の歩道を復旧しました。



■リニューアルオープンの状況



■東内海橋歩道から萬画館を望む

○道路災害復旧工事の完成状況



【(一)稲井沢田線石巻市真野地内】



【(主)石巻鮎川線石巻市桃浦地内】



【(一)牡鹿半島公園線
女川町野々浜地内】

5. 河川・海岸災害復旧事業関係

当事務所管内の県管理河川・海岸の災害箇所は63箇所、これまでに55箇所に着手し、7箇所が完了しました。

○河川・海岸災害復旧事業の工事状況



【定川破堤部の鋼管矢板打設完了】



【東名海岸の工食用道路築造完了】



【大曲海岸のブロック据付状況】

○石巻市鮎川地区の説明会に参加しました。

3月23日(土)に、石巻市鮎川地区で開催された鮎川地区まちづくりに関する説明会に参加しました。

鮎川地区では、復興まちづくり計画に併せて湊川と県道石巻鮎川線の災害復旧事業を行う予定です。



■説明会の状況



■説明会の状況

6. 事務所の研修

○仙台湾南部海岸の災害復旧事業を見学しました。

3月1日(金)に国土交通省東北地方整備局で整備している仙台湾南部海岸の災害復旧事業の見学会を、気仙沼土木事務所と仙台土木事務所と合同で行いました。

粘り強い海岸堤防の構造や震災がれきの活用などについて説明を受けました。



■見学会の状況



■現場の状況

7. 他県からの応援職員



当事務所には、現在、北海道、秋田県、千葉県、新潟県、福井県、三重県、奈良県、鳥取県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県から28名の応援を頂いていますが、一部の任期延長の方を除いて、3月末までの任期を終えて、帰県されます。

皆様の応援に対して心から感謝申し上げますとともに、我々も宮城の復興に向けて今以上に頑張っていきます。

○問い合わせ先 宮城県東部土木事務所 企画担当チーム
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-dbk/>

TEL:0225-95-1151

E-mail: et-dbk@pref.miyagi.jp